



年頭の ごあいさつ

葛巻町長 鈴木重男



新年明けましておめでとうございませう。本年が皆さまにとりまして、希望に満ちあふれる素晴らしい年でありますようお祈り申し上げます。また、日ごろから町政全般に対するご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

私は、常日ごろから、町民の皆さまが日々の生活で感じるさまざまな「不安」を一つひとつ解消していくことが、本当の意味での「豊かさ」や「幸せ」につながっていくものと考えており、その「不安」を一つ一つもどく解消するべく、「安全・安心な町づくり」のための取り組みを進めて参りました。一昨年の記録的な大雪や東日本大震災による大規模停電の教訓を将来に生かすため、災害時に避難所となる町内25地区センターに太陽光発電設備と蓄電設備などを整備しました。災害時の電源を確保することに加え、平常時はその売電収入を各自治会などの活動費としてもご利用いただいているところでもあります。

また、町内全域に光ファイバー網を整備できたことにより、地上デジタル放送視聴、防災・行政情報の受信、高速インターネットの利用のほか、自主放送「くずまきテレビ」を開局し、全国に先駆けて町議会の生中継を実現するなど、町民の皆さまが必要とする情報を必要なときに得られるよう情

報伝達システムの整備に取り組んできたところでもあります。

昨年11月には、町の中心校である葛巻小学校に、本町初となる温水プールが完成しました。熱源システムにペレットボイラーを導入し、建物の骨組みは町産カラムツ集成材を用いるなど、葛巻らしさをふんだんに取り入れたプールであり、一般開放も積極的に行って参りますので、多くの方々からご利用いただきたいと思っております。

そして昨年は、明治25年、本町に初めてホルスタイン牛が導入されて以来、120周年を迎えた節目の年でもありました。これを記念して、本町では初めての岩手県畜産共進会、東日本デイルーシヨを開催したほか、11月の酪農シンポジウムでは、次世代を担う酪農後継者の方々から将来への思いをお聞かせいただき、大変有意義な機会となりました。

一方、震災発生以来継続している被災地復興支援につきましては、「一年を通して心の復興を支援しよう」をテーマに、東京多摩交響楽団やプロの和太鼓演奏集団「鼓童」の演奏、あるいは、「千昌夫・新沼謙治夢のジョイントコンサート」と銘打った公演などを開催し、ご招待申し上げた多くの被災地の方々からは町民と共にイベントを楽しんでいただくなど、少しでも心の支えになればと願っていたところでもあります。

このように昨年も、町政各分野において、

一歩前進させることができました。これもひとえに、町民各位のご理解とご支援のたまものであり、ここに改めてお礼申し上げます。

本年もまた、「安全・安心な町づくり」をさらに一歩前進させるために、災害時の情報確保対策の一つである全国初のエリア放送の開局、災害情報発令の迅速化に向けた情報システムの整備、携帯電話の不感地域解消事業など、災害に強い情報通信基盤の構築を進めて参ります。

また、「安全・安心な町づくり」の根幹であり、町民の皆さまが待望する葛巻病院の改築事業に着手して参ります。

基幹産業の振興では、粗飼料生産基盤確立のための再整備や乳製品の付加価値を高めるための6次産業化を進めるとともに、本町にとってかけがえのない資源である森林を永続的に保全、活用できるように、将来を見据えながら、引き続き取り組みを推進して参ります。

そして、町民の皆さまが「住み続けたい町」、「誇りを持てる町」、「山村のモデルとなる町」を目指し、各種施策を一歩一歩着実に推進して参ります。

年頭に当たり、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、本年もなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

町内の巳年生まれ

平成24年12月25日現在

生まれた年	西暦	年齢	男	女	合計
大正6年	1917年	96歳	1人	13人	14人
昭和4年	1929年	84歳	26人	81人	107人
昭和16年	1941年	72歳	52人	87人	139人
昭和28年	1953年	60歳	80人	61人	141人
昭和40年	1965年	48歳	39人	32人	71人
昭和52年	1977年	36歳	38人	38人	76人
平成元年	1989年	24歳	20人	7人	27人
平成13年	2001年	12歳	20人	20人	40人

